

今週のビルマのニュース 2011年12月9日 (1137号)
対米・対中関係の変化 カチン州で戦闘が続く 注目アイテム多数

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ 国民民主連盟 (NLD) の政党登録 (11月25日) / 日本とビルマとの経済協力に関する政策協議の開催 (28日ネーピードーで) / アウンサンスーチー氏の補選出馬表明 (30日、補選日程は不明) / ミンアウンフライン国軍司令官の中国訪問 (28日～2日) / クリントン米 국무長官のビルマ訪問 (30日～2日) / 世界銀行や国際通貨基金 (IMF) によるビルマでのニーズアセスメント調査の可能性 (1日にクリントン長官が表明) / 米政府のミッチェル特別代表・政策調整官の韓国・日本・中国訪問 (8日～13日) / カチン州で続く戦闘や国軍による民間人に対する残虐行為 (6月以降、避難民数約3万人) 等。詳細については「きょうのビルマのニュース」を参照。
ビルマ情報ネットワーク「きょうのビルマのニュース」
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

【政府開発援助 (ODA)】

- ・ 具体的案件について新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ 「タアン学生青年団体」が報告書を発表 (11月22日)。シャン州北部タアン民族居住地域で水力発電など大型開発事業のため半数以上の農家が国軍によって土地を奪われた。<http://www.palaungland.org/eng/report>
- ・ 地雷禁止国際キャンペーンが2011年版「ランドマインモニター報告」を発表 (11月23日)。ビルマでの対人地雷の使用を確認。<http://www.the-monitor.org/index.php/publications/display?url=lm/2011/>
- ・ 非政府組織「パートナーズ」が、カチン州で国軍兵士が住民に対し残虐行為をしている実態を調査、報告書を発表 (11月28日)。http://www.partnersworld.org/usa/images/stories/publications/crimes_in_northern_burma.pdf
- ・ 「タアン学生青年団体」が報告書を発表 (11月29日)。イラワディ川支流のシュエリ川での水力ダム建設により、地域の軍事化を含む深刻な社会・環境的悪影響が出ている。<http://www.burmariversnetwork.org>
- ・ 国際危機グループ (ICG) がビルマの民族問題について報告書を発表 (11月30日)。
<http://www.crisisgroup.org/en/regions/asia/south-east-asia/burma-myanmar.aspx>
- ・ 「クキ女性人権団体」がプレスリリース「チンドウィン川でのダム建設の中止をインド・ビルマ両政府に求める 移転させられた住民2,400人は帰郷を希望」を発表 (8日)。<http://www.burmariversnetwork.org>
- ・ 根本敬 (上智大学教授) 「ビルマ新政府の『民主化』はどこまで本物か？」 (岩波書店「世界」1月号)

【イベント情報】 ([] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [青年海外協力隊大阪府 OBOG 会ほか] 多文化共生フェスティバルでドキュメンタリー映画「ピュア 希望の鐘」の上映とココラット氏講演会 (あいも文化交流会館、10日13～15時) ☆入館料500円
- ・ [メラウーキャンプ教育支援の会ほか] ドキュメンタリー『ピュア-希望の鐘 難民キャンプの子どもたち』上映&ココラット氏講演会 (キャンパスプラザ京都 第二講義室、11日10～12時)
- ・ [(特活) 無国籍ネットワーク] シンポジウム「無国籍者の今、求められる日本の対応—国連無国籍削減条約50周年を迎えて—」 (11日14時～17時半、明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー1106教室) ☆日本在住のチン民族難民の方がパネルに参加
- ・ [公益社団法人アムネスティ・インターナショナルほか] 在日ビルマ人女性と考える—「日本の難民問題」 (亜細亜大学武蔵野キャンパス2号館2階225教室、20日18時10分～) ☆要申込。

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>